

## 1. はじめに

弘法山公園は、本市の中央東側に位置する浅間山、権現山、弘法山の3つの山一帯のことを指し、県立丹沢大山自然公園にも指定され、市街地の近くにあるため、小田急小田原線3駅（秦野駅、東海大学前駅、鶴巻温泉駅）から徒歩で訪れることができます。また、ハイキングや登山、森林セラピー等を体験できるほか、富士山も一望できることから、市内屈指の景勝地となっており、3駅を結ぶ周遊観光拠点としての大きな可能性を秘めています。

さらに、弘法山公園には、年間約50万人（令和4年神奈川県入込観光客調査）が訪れており、これは本市観光地の中で、丹沢表尾根、県立秦野戸川公園に次ぐ観光客数となっています。

本市では、「秦野市総合計画（はだの2030プラン）・前期基本計画」のリーディングプロジェクトとして、「小田急線4駅周辺のにぎわい創造」を位置付けており、弘法山公園が有する自然環境や施設、周辺の地域資源、アクセスの良さを生かしながら、来訪者の潜在的な要望に応え、老若男女が気軽に楽しめる環境を創造することで、市内3駅を結ぶ新たな人の流れを生み出すことができると考えています。

そのため、弘法山公園及び周辺地域のポテンシャル、また、利活用のための課題やニーズ等を正確に分析するとともに、環境問題への関心の高まり等の社会動向への対応を図り、弘法山公園の持つ豊かな自然の保全と利用の安全性と利用しやすさの確保を前提に、弘法山公園の魅力と利用機能の強化、ネットワーク化等により、利用者増と地域の活性化につながる、実現性に裏打ちされた利活用方針を検討します。